

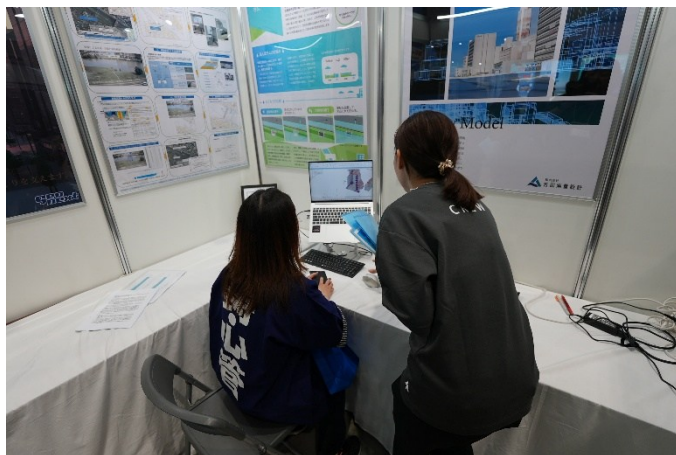
認定番号：110 サポーター名：株式会社吉田測量設計

▶実施内容の分類：(2) 流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等

取組実績

EE東北2025への参加

流域治水における田んぼダムの有効性についてポスター展示や来場者への説明説明を行い、理解を深めていただいた。



流域治水

気候変動による水災害から街を守る。

田んぼダムが
水量を調整し、
洪水を抑える。

出典：国土交通省ウェブサイトより
[空中写真]を加工して作成。

流域治水とは？

多様な対策を組み合わせて地域全体で洪水被害の軽減を目指す総合的な考え方。
従来のダムや堤防といった河川での対策に留まらず、雨が降る地域全体（流域）で、あらゆる関係者が協力して水害に備える取り組みです。例えば、土地の特性を活かして雨水を貯めたり、安全な避難の仕組みを考えたりと、様々な対策を組み合わせて地域全体の安全を目指します。

取り組みの一つが
田んぼダム

田んぼダムの仕組み

水田に雨水を一時的に貯め、緩やかに流すことで洪水のピークを抑え、被害を軽減する。
田んぼダムは、水田の防水機能を効果的に活用する洪水対策です。まず、水田の排水口に堰板（せきいた）などを設置して、そこから流れる水の量を調整します。大雨が降った際には、水田を囲む堰と、この調整された排水口の働きにより、雨水が一時的に水田の中に貯まります。こうして貯留された水は、時間をかけてゆっくりと下流の河川や水路へ排水されるため、河川への急激な増水を緩和し、下流域の洪水被害を減らす効果があります。

Before

⇒

After

モデルでの比較

※ 通常時の様子 排水口からそのまま水が流れる。

大雨時の様子 堰板を設置して、水田に水を貯める。

※あくまでイメージ画像です。

弊社は、流域治水の一環として注目される「田んぼダム」に着目し、その洪水緩和機能に関する科学的根拠、設置可能性、効果検証手法、導入に必要な技術的要件等を詳細に調査・評価することを目的としています。

特に、農業土木分野における測量・コンサルティング業務としての参入を目指す測量企業を対象とし、岩手県を中心とした事業展開の可能性を探る上で必要となる実務的な技術情報を提供することに主眼を置きます。

認定番号：110 サポーター名：株式会社吉田測量設計

▶実施内容の分類：(2) 流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等

取組実績

希望郷いわて
流域治水シンポジウム2025へ共催
流域治水における田んぼダムの有効性についてポスター展示や模型展示を行い、理解を深めていただいた。



希望郷いわて 流域治水シンポジウム2025

～平成28年台風第10号災害からの岩泉町の復興・復興とみんなで取り組む流域治水～

おはよう日本 出演中!

NHKニュース
近藤 奈央
岩手県 岩泉町 岩泉町民会館

令和7年 12月14日 参加無料
13:00-15:00

会場 / 岩泉町 岩泉町民会館
岩手県 岩泉町 岩泉町民会館

台風・大雨から大切な命を守る
～正しい気象情報の三カ条～

近藤 奈央
岩手県 岩泉町 岩泉町民会館

激甚化・頻発化する水災害をシフトしよ
～みんなで取り組む流域治水～

神山 浩樹
岩手県 岩泉町 岩泉町民会館

主催：岩手県 岩泉町河川治水協議会 ●共催：流域治水オフィシャルサポーター【株式会社吉田測量設計、株式会社東洋建設】
お問合せ：岩手県土木整備部 河川課 019-629-5906

流域治水とは?

近年の気候変動の影響による降雨量の増加や水災害の激甚化・頻発化に対応するため、河川の流域全体(集水域から氾濫域)のあらゆる関係者が協働して治水対策を行う考えです。

希望郷いわて 流域治水シンポジウム2025

～平成28年台風第10号災害からの岩泉町の復興・復興とみんなで取り組む流域治水～

プログラム

13:00- 動画「いわいばあひらのキセキ」上映
13:15- 開会・オープニングトーク
13:25- 基調講演
13:45- 取組紹介
14:20- パネルディスカッション
14:55- クロストーク・閉会

講演者：近藤 奈央、神山 浩樹

困ったな！ 今使っている既設コンクリート構

どうすれば機能分離型の田んぼダムができるのか？

こんな方法があったのか!! 目からうろこ!

経年経過では、農家からこんな課題・問題点が
出されています

農家が考えた！既設構に設置できる田んぼダム構築
「これでしゅうぶん」

課題解決

流出抑制は、開け、詰め、コンクリート等で作製し、堰の高さを流水量に合わせた水が貯留を確保しないよう調節可能な高さになる軽質の高さより10cm高くする。堰は、浸食防止のためベンキ等で塗布することが好ましい。

流域治水

気候変動による水災害から街を守る。

田んぼダムが水害を調整し、洪水を抑える。

流域治水とは?

田んぼダムの仕組み

モデルでの比較

通常時の様子 大雨時の様子

困ったな！ 今使っている既設コンクリート構

どうすれば機能分離型の田んぼダムができるのか？

こんな方法があったのか!! 目からうろこ!

経年経過では、農家からこんな課題・問題点が
出されています

農家が考えた！既設構に設置できる田んぼダム構築
「これでしゅうぶん」

課題解決

流出抑制は、開け、詰め、コンクリート等で作製し、堰の高さを流水量に合わせた水が貯留を確保しないよう調節可能な高さになる軽質の高さより10cm高くする。堰は、浸食防止のためベンキ等で塗布することが好ましい。